material/Zero

material/Zero

※本書には、Fate/zero vol.1本編のネタバレが含まれております。本編を読み終わった後にご覧頂けますよう、お願い致します。

KIRITSUGU EMIYA

衛宮切嗣

Talk about Kiritsugu Emiya

武内：切嗣さんです。デザインは決まっていたので、迷いは無かったですが、服装は変えようかなとちらっと考えたりしました。

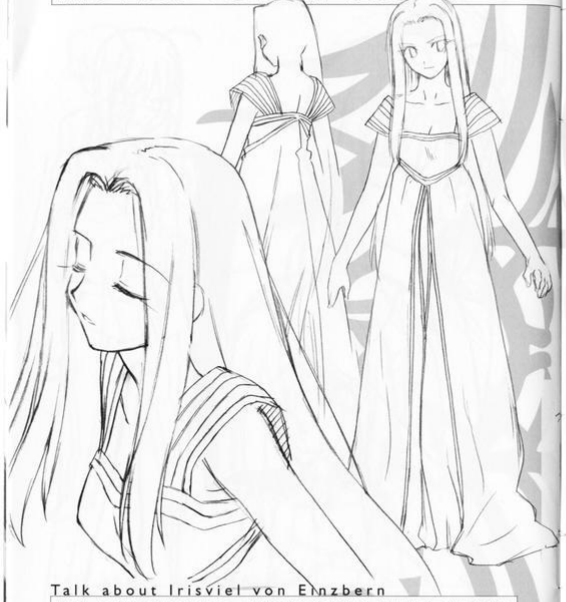
虚淵：トレンチコートの案もありましたけど、結局、元のデザインでお願いしたんですよね。切嗣には伊達男になってほしくなかったんです。装飾のある高級ナイフではなく、味も素っ気もない銃剣（バヨネット）のイメージというか。

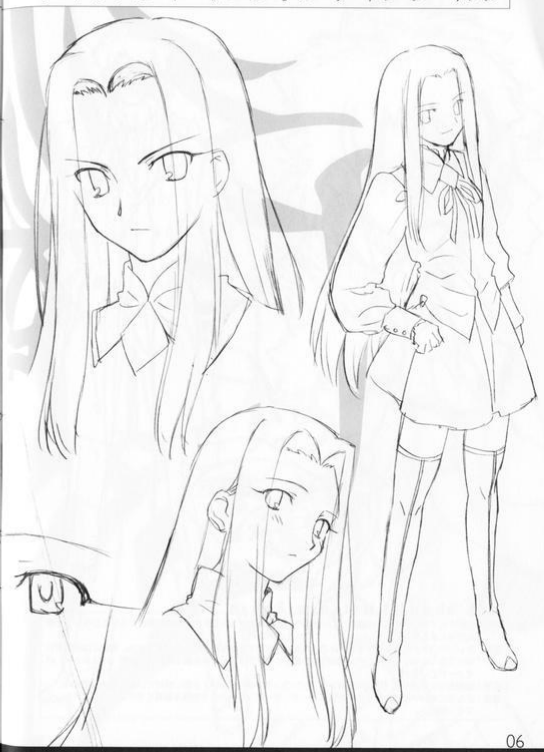
奈須：虚淵玄は三年前から『切嗣の銃はトンプソンコンテンダーがいい』と言い続けていた。その野望が今。

虚淵：どんなに格好イイ銃か知りたい方は『ハード・ターゲット』という映画を御覧ください。ランス・ヘンリクセン萌え〜。

IRISVIEL VON EINZBERN

アイリスフィール・フォン・アインツベルン





Talk about Irisviel von Einzbern

武内：Zeroにおけるメインヒロインですね。一児の母親がヒロイン！なんか、ドキドキしちゃう？！デザインはど真ん中に「成長したイリヤ」です。

虚淵：この人は切嗣に出会ってから情緒に目覚めたという設定なので、ママでありながらも心は少女なのですよ。まさに禁断の扉の向こう側。

奈須：ママーの手は魔法の手ー。想像以上にお茶目でお嬢様なアイリです。ロングブーツが素敵だ……！　あと、ユスティーツァ後期型のホムンクルスはこの後色々手を加えられて、リズみいたなばいーんでむちーんな「L型」と、セラみたいなしょぼーんですたーんな「S型」に別れてたりすると夢があっていいと思う。そ、それはつまりイリヤにはどちらになるか選べる夢があるって事かーーー！？

武内：成長しないっていう夢の方は、既に実現してるからなー。イリヤ、スペック高けぇー。

SABER&ARCHER

セイバー＆アーチャー

Talk about Saber&Archer

武内：男装セイバーは初め執事風のものを考えてみましたが、色々アレだったので普通の黒スーツになりました。ギルも10年前ということで、Fate本編よりも隙のない感じにしてます。やはりアルカ、10年で慢心しちゃったのか。

虚淵：セイバーは最初、カクテルパーティみたいなドレスコードで、と妄想してたんですが、そんな格好で町中をウロウロさせるのはあんまりにも羞恥プレイすぎやしないかと考え直し、結局、無難に落ち着きましたね。ギル様は、まだセイバーにハートを射抜かれる前ですからね。恋は男を変えてしまうのですよ……

奈須：虚淵さんはアイリをエスコートするセイバーに拘っていたのであった……！あとゼロギル（虚淵ギル）は油断のゆの字もないパーフェクト英雄王です……！　まあ、相変わらず慢心はしておりますが。

虚淵：だってギル様は格好イイもんッ！　金色だから！　武器満載だから！　ギル様にあらせられては油断すら慢心すらも格好イイんだもんッ！　っつうか『様』をつけたまえよキミタチ！

TOKIOMI THOSAKA

遠坂時臣

Talk about Tokiomi Thosaka

武内：時臣は、自分が想像していたのとかなり異なるキャラでした。でもまぁ、考えてみれば遠坂の人なんだし、桜への仕打ちとか考えれば酷い人じゃんね。

虚淵：自分なりに、きのこワールドの魔術師像、ってのを追い求めてみたキャラなのです。一般人の倫理観に照らせば鬼でも、この人の中では何ら悪いことしてるという認識はない。疑うことを知らない子供の目からは立派な人物に見えてしまう。凛が物心ついても、パパ健在だったら、そうとう遠坂家は荒んでたかも……

奈須：こんな厳窟王みたいなお父さん誰だってヤですよ！　でも、話が進むとこの困った人も「格好い。……！」と思わずホロリとしてしまうシーンがやってくるワケで……あと赤いの好きですねこの一族（笑）。

武内：初めは青黒系で考えていたのですが、虚淵さんの方から、「やっぱ遠坂の人は赤っしょ！」と言われましたのです。

虚淵：娘さんの「赤いあくま」という肩書きに殊の外シビレたものですから。フェラーリレッドと同等にトオサカレッドも普遍化したい！

KIREI KOTOMINE

言峰綺礼

Talk about Kirei Kotomine

武内：なんか若々しいのが、結構描いてて楽しいです。
虚淵：マテ本にあったヤング言峰のラフから、すべての妄想は始まったのです。まさにZeroにおけるグラウンド・ゼロ！
奈須：虚淵氏の言う通り、ゼロの影の主役とも言える黒い聖者。えもしれぬ色気が漂っております。若い頃はわりと取美系だったのか。言うまでもありませんが、この時点で既に妻子持ちです。
武内：妻帯者多いな！家族の絆を深める最後の手段は、聖杯戦争だ！
虚淵：いや、あの、ドッチの家族も結局、その……
奈須：言わないで！　そんな読者の夢をグラウンド・ゼロするようなコト言わないでー！

WAVER VELVET　ウェイバー・ベルベット

Talk about Waver Velvet

武内：当初からイメージがあったので、比較的に楽にデザイン出来たキャラです。描けば描くほど味が出てきます。Zeroにおける最萌えキャラ。

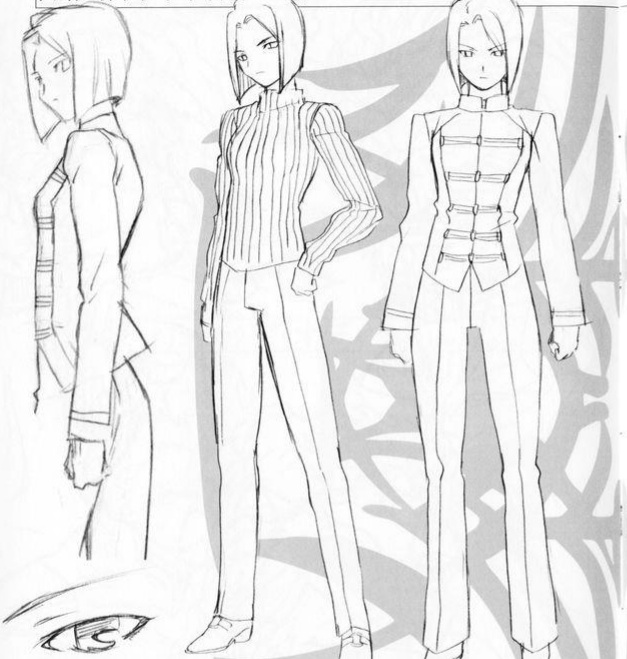
虚淵：萌えキャラ、ですよね……。正直、なぜ俺はオナゴでこの萌え度を発揮できないのかと神に問いたい。問い詰めたい。

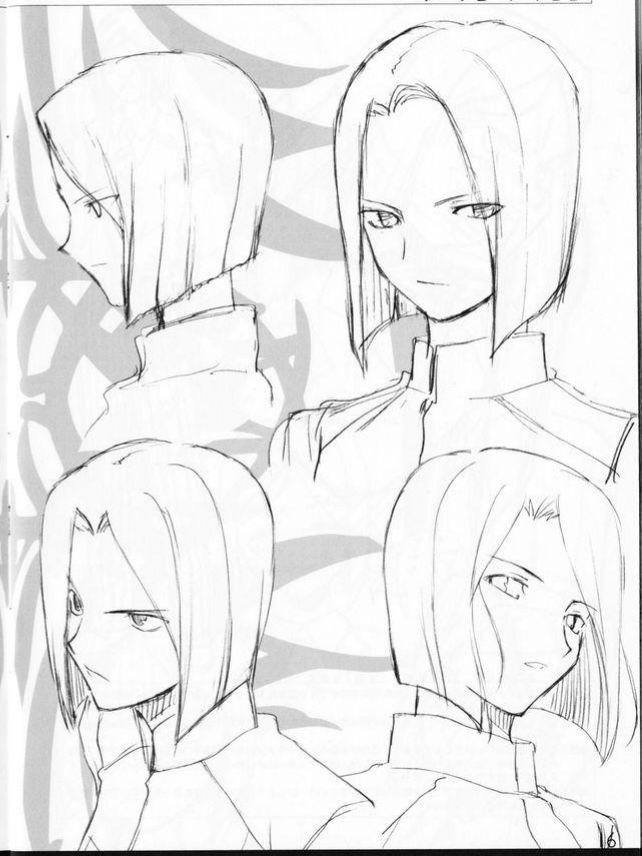
奈須：それが虚淵玄のいいところですよ！　このマスターとサーヴァントコンビはゼロにおける台風です。ちなみに初期段階ではノビタと呼ばれていました。他のマスターにいじめられて万能豪傑型サーヴァント・イスカ衛門に泣きつくダメマスター。

武内：カラーの見開き口絵をデコピン喰らっているウェイバーにしようかという意見もあったぐらいです。愛されているんだぜ、オマエ…！

MAIYA HISAU

久宇舞弥





Talk about Maiya Hisau

武内：色々模索しましたが、最終的には良いところに落とし込めのでは無いかなと。口絵で並べて初めてウェイバー被っていることに気が付きました。ノォー！！

虚淵：あらゆる点でアイリと対象を成すキャラを、と目論んで書き進むうちに、気がつけば私の趣味が全開になった感が。タートルネック姿のラフもあって、これがまた、たまらんのです。

奈須：マイヤって名前だから、てっきりカボエラを使うのとばかり……。
一番はじめの打ち合わせの時、「第四次中、切嗣には愛人がいてアイリそっちのけだったんですよ」と何も考えてないクセにきのこが呟きまして。単に“切嗣本人にはその気はないのに女癖が悪い”といった特徴を出すための設定だったのですが、見事に昇華していただきました。男の子にとって、クールな秘書は永遠の憧れです。うちにも来てくれねえかなあ。

ディルムッド・オディナ DIARMAID O DUIBHNE
イスカンダル ALEXANDER

OTHER CHARACTERS その他

Talk about Other characters

武内：1巻ではページ数などの都合で口絵紹介が掲載されなかったキャラ達です。イスカンダルのキャライメージが「“蒼天○路”の曹操と、“花の○次”の前田慶次を合わせた感じDE」と聞いた時は、その漢力に気が遠くなりました。

虚淵：アーサー王とギル様の対置を一辺とし、さらにそこから正三角形を描く位置に置いた点がイスカンダルなのですね。揃いも揃って重なるところのない三者三様の王道、そんな王様トライアングルを想定するうちに……気がつけばとんでもないことに。

奈須：つーかぁ……まだ挿絵がない頃にゼロ読んでいた私としましては、「んー、イスカンダルって女の子だったらスゲー萌えない？」などとどっかの原画みたいな妄想を抱いておりました。だが！　そんな萌えキャラは誰でもできるのです！　あの奇天烈な英傑を英傑のままに描いてなお萌えさせる。それが虚淵玄。ゼロの主役と言っても過言ではありません。

武内：他のキャラだと遠坂葵が密かに気に入ってます。ディルムッドはランサーと同系統の神話が出展とのことなので、どことなく近い雰囲気を狙ってみました。

虚淵：葵さんはねー、こんな大人しそうな顔してて怖いヒトですよ。女ってなそういうモンさ。ディルムッドは、なんか書けば書くほどZ女ゲーの攻略対象みたいなヤロっに思えてきます。美形なくせに好漢だなんて有り得ねぇ！

奈須：そのような戯言よろしくなくてよ玄！　姿が美しい人は心も美しいのですわ！　……と、通りすがりの汚紹夫人は語るのであった。

FATE/ZERO

祝刊行。ゆーい。
つづきがまちどおしいです。
mohiyca.

祝 ゼロ発売！

企画として動き出したという話を聞いたときは
時は「え、マジですか？！」と思わず聞き返し
てしまいました。
いや、まあ、その・・・読めるものなら読みた
いですが！！（笑）
彩色に際し、先行して読ませて頂いたのです
が、小説を読むのが苦手な自分がぐいぐい引き
込まれてあっという間に読破。
続き、・・・早く続きを・・・っ！！
・・・とか書くと、いかにも盲信臭いですが、
本当に面白かったです。
オラわくわくしてきた！！！
そして田ちゃん萌え。

CVが中田さんに力也さんには谷さん・・・妄
想しただけで鼻血ぶーぶーな善月堂雄でした。

あらき

古今の英雄英傑が時代を超えて終結し、驚嘆すべき神業と畏怖すべき魔技を激突させ、超人的魔人的血戦を繰り広げる。それは山田風太郎を始祖として脈々と連なる血筋。そう。『Fate』はまさにタイプムーン版『魔界転生』と呼ぶべき作品です。

あの英雄とあの英雄が戦えばどっちが勝つのか。あの英雄はいったい如何なる力を持つのか。止まらない妄想はどんどん加速し、莫大な熱量を撒き散らして暴走する……「ぼくがかんがえたサーヴァント」的な妄想は、おそらく皆様も身に覚えがあると思います。

さてさて、ここにまたひとつ、俗悪かつ極上の妄想が『Fate』の物語に加わります。『Fate/stay night』から遡ること十年前——そうです。「第四次聖杯戦争」が虚淵玄の妄想を依代に今、召喚されるのです。その真名を『Fate/Zero』。

皆様、期待に胸が膨らむのを抑え切れないことでしょう。それはわたくしも同じでございます。ならば一緒に追いかけてゆこうではありませんか。もうひとつの『Fate』の物語。敗北が定められた物語と受け継がれるべき物語を。

——今この場所からそれは始まり、わたくしたちは今その場所に立っているのですから。

TEXT：鋼屋ジン

message from Nitro+

m a t e r i a l / Z e r o

イラスト　：武内崇
コメント　：虚淵玄　奈須きのこ
表紙イラスト：MORIYA
寄稿　：蒼月雅雄　MORIYA　/　TYPE-MOON
　　Ni.θ　JOYまっくす　鋼屋ジン　たたなかな　/　ニトロプラス
デザイン　：WINFANWORKS

発行人　：竹内友崇
発行　：TYPE-MOON

本書に掲載された内容の一部、および全部を当社の許可無く使用、複製、転載等の著作権を侵害する行為を禁じます。

TYPE-MOON http://www.typemoon.com/

Nitroplus/TYPE-MOON